

2016年6月1日

株式会社ヴィア・ホールディングス
代表取締役社長 大場 典彦

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要について

当社は、2015年12月25日に公表した「コーポレート・ガバナンスポリシー」に基づき、取締役会の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

評価の方法としては、取締役に対して評価の趣旨等を説明のうえで取締役会の運営・意思決定の方法・審議の内容等に関するアンケートを実施し、全員から得られた回答の集計結果を参考に、取締役会での議論も踏まえて分析・評価を実施しました。

その結果、当社の取締役会はその役割・責務を果たすために適切な体制が構築されていること、社外を含めた取締役及び監査役からの意見により活発な議論がなされており、適切な意思決定プロセスが確保されていることなどから、2016年3月期において当社の取締役会の実効性は概ね確保できているものと分析・評価しました。

同時に、取締役会の運営上の課題等についても認識をしましたので、今後も企業価値の向上を図るために取締役会の実効性を更に高めるべく、継続的な改善を実施してまいります。

以上